

東条川疏水の恵み次代に

地域振興関係者ら50人議論

加 東

加東市黒谷の鴨川ダムから続く108

キロの水路網「東条川疏水」について考え

るワークショップが23日、

加東市上三草のやしろ国

際学習塾で開かれた。70年

近く流域を潤してきた疎

水の恵みを次世代に引き

継いでいこうと、観光ボラ

ンティアや地域振興に取り

組む有志ら約50人が、新た

な取り組みについて議論した。

1951年に完成した鴨

川ダムの水は加東市と、小

野、三木市に流れ、高級酒

米「山田錦」の主要産地を

支える。北播磨民局は2

012年、この流域を博物

館と捉える構想を策定し、

15年からシンポジウムを開

いてきた。

今年「井戸端会議」と

銘打ち、グループごとに分

かれて知恵を出し合った。

参加者は8人ずつ4班に分

東条川疏水の恵みとして、地元産の桃などで作った菓子について説明する岡本結音（ゆのん）さん（左）と吉田遥香さん＝やしろ国際学習塾



かれ、地元の兵庫教育大学院教授らが議論を促した。総コーディネーターは、大阪大学大学院の畑中直樹・招聘教員が務めた。会議に先立ち、博物館構

た桃などの菓子作りに取り組む社高校（加東市木梨の生活科学科2年生が、山田錦の日本酒を使った菓子「夢恋チヨコパウンド」や、学校給食での地産地消などをアピールし、会員の大きな拍手を受けた。

（笠原次郎）

獅子銀 道の駅
とつじょう店
0795-47-2888